

チャレンジとは？

「障がいのある人」を表す新しい米語で「the challenged（挑戦という使命や課題、挑戦するチャンスを与えられた人）」が語源。障がいをマイナスとのみ捉えるのではなく、障がいがあるゆえに体験するさまざまな事象を自分自身のため、あるいは社会のためポジティブに生かしていこうという思いが込められている

Powerful パワ マダム MADAM

ふだんは兵庫県にある国立病院に入院している麻紀さん。長期休暇のたびに遠征し、家族との時間を持つ



ナミねえがパワフルマダムになるまで



60歳、歌います！

「ナミねえBAND」のボーカルとして、毎月ライブ出演。十八番の「ろくでなし」はあまりにパワフル！



42歳、フロップ・ステーション設立

フロップ・ステーションを立ち上げたところ、フロップとはラグビーのポジションの名前で「変える」という意味



ナミ34歳、娘・麻紀8歳

麻紀さんが入院していた、障がいが養護施設が併設された病院で、同じく入院中のお友達と。右が竹中母子



16歳で花嫁に

高1の夏休みにアルバイト先で出会った先輩と結婚。同棲が1年時点まで高校は退学処分だった。45歳で離婚



7歳ごろ、神戸にて

七五三のお祝いで、阪神・淡路大震災で実家が全壊したため、幼少期の写真はこれのほかに数枚しか残っていない

不良少女から 重度障がい児の母に

初夏の風が吹き抜けると、竹中麻紀さん（38）は両手を振り上げて笑い、全身で喜びを表した。
「麻紀は小さいころから、風を感じるのが好きだった。でも、こんなふうに笑えるようになったのは最近のことなんよ」
竹中ナミさん（62）は、そう言っ
て目を細めた。
障がいを「チャレンジ」と呼
び、自立と就労を支援する社会福祉法人「プロップ・ステーション」の発足人で、現理事長。また省庁やNHKの委員も務め、軽快な関西弁で発言する竹中さん。だが、幼な子のような我子を見つめる目は、優しい。オカン、そのものだ。

1948年、神戸市生まれ。幼いころから、世間の常識に反発を覚える性格で、中学時代に不良デビュー。家出を繰り返して、16歳のときには年上の男性と同棲。高校は除籍・退学になるも、同棲相手と結婚し、22歳で長男を出産。近所の子ともたちから「ナミねえ」と呼ばれ、楽しい毎日を送っていた。しかし、25歳のとき、大きな転機が訪れる。第2子・麻紀さんの誕生だ。2千290gで生まれた娘は、おっぱいに吸いつくことができず、生後3カ月になっても体重がほとんど増えなかった。そして、医師から宣告を受ける。
「脳に重度の障がいがある。回復